

練習しよう

1 次の□にあてはまる言葉を、あとから選んで書きましょう。

□① 今では手紙を書く機会が少なくなってきましたが、手紙にはよい点がいっぱいあります。

初めに、表現をよく考えてから発信できるという点です。

□□□、もらった人が何度も読み返せるという点です。

また、便せんや封筒などを選ぶ楽しさもあるという点です。

□② 暑さをしのぐために新しく電化製品を買うなら、扇風機とエアコン、どちらがよいだろう。

単純に、費用という点で□□□と、扇風機のほう

がだんぜん安い。

□③ 筆の種類を考えてみましょう。

使い道という点で□□□と、書道用の筆、絵をかく

ための絵筆、お化しう用の筆などがあります。

□④ 人間には無害でも、犬にあたえてはいけない食べものがある。

□□□、ネギ類である。犬がネギや玉ねぎを食べると

中毒症状^{しゅうじょう}を起こし、命にかかわる場合さえある。

まず 次に 例えば 分ける 比べる

2 次は意見発表のためのメモです。これを読んで、あとの問いに答えましょう。

◎確にんすることは大切だ！

- ・確にん不足は、失敗の原因になる。
- ・友達に本を返さなくてけんかになった。
- ・言葉の聞きちがいがあった。↓「八日」と「十日」
- ・確にんをめんどうがらなければ、けんかにならなかった。
- ・どんなときでも、しっかり確にんすることが大切。

□ 次のようにメモの内容を整理します。マスの数にあてはまる言葉を、右のメモの中からそれぞれ書きぬいて答えましょう。

全体として言いたいことは、

□□□は大切だということです。その理由は、

□□□は失敗の原因になるからです。例えば、

□□□による失敗があります。具体的には、友達

に本を返す日の「八日」と「十日」を聞きちがえ、けんかになった

ことがあります。どんなときも、確にんを

がってはいけません。

③ 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

春の河

山村暮鳥
やまむら ぼちよう

(たっぷり)
たっぷりと

春は

小さな川々まで

あふれてゐる①

あふれてゐる②

小景異情

あんずよ

花着け

地ぞ早やに輝やけ
は かが

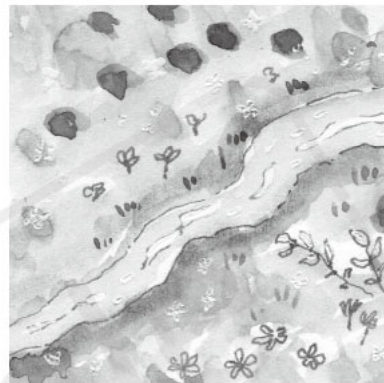
あんずよ花着け

あんずよ燃えよ

5



室生犀星
むろう さいせい



□(1) 「春の河」の作者が、一つの川だけでなく、あちこちの川に目を向けていることはどの行からわかりますか。詩の中から一行を書きぬいて答えましょう。

□(2) 「春の河」の詩から作者のどんな気持ちが読み取れますか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 冬が終わってしまつて残念な気持ち。
イ 川の水が少なくてつまらない気持ち。
ウ 春をむかえたことを喜ぶ気持ち。
エ 早く夏になってほしいと願う気持ち。

□(3) 「小景異情」の詩の季節はいつごろですか。次から一つ選び、記号で答えましょう。

ア 寒さに向かう秋の終わり。
イ まだ寒さが残る早春。
ウ 暖かい春のまっさかり。
エ 暑い夏をむかえたころ。

□(4) 線「あんずよ燃えよ」とありますが、あんずにどうしてほしいということですか。「花」という言葉を使って書きましょう。